

体験談レポート

ユーザー: K.Kさん(48歳・男性) 埼玉県
商品名: フラッドラッシュスキムメッシュソックス／スパイルフィルアルパインソックスレギュラー
テスト日時: 2010年1月16日-17日および1月23日-24日
アクティビティ: 冬山登山/登攀(八ヶ岳: 阿弥陀岳南稜、北稜、赤岳主稜、中山尾根)
テスト環境: 1/16快晴(-13℃ 標高2300mまで) 1/17快晴(-15℃ 標高2800m)
1/23快晴地吹雪(-18℃ 標高2900m) 1/24快晴(-15℃ 標高2600m)
当日のレイヤリング: (ボトムス) フラッドラッシュスキムメッシュソックス／スパイルフィルソックス
ストームゴージャルパインパンツ、ゴアテックスロングスパッツ
ゴアテックス雨具パンツ

～ 冬山で手放せないソックスに ～

所属する山岳会で、新人を連れ八ヶ岳の各ルートに登った。八ヶ岳は強風と寒さが第一級の山だが、雪質は乾いている。今回登った各ルートは、それぞれ性格が異なり、阿弥陀岳南稜は歩きが中心で、ほぼ縦走に近く、ワンポイントだけアイスクライミングになる。北稜は実質3ピッチのルートで簡単な岩登りと雪稜の初心者向けで風の影響も少ない。赤岳主稜は岩登りと雪稜が交互に出てくるが、難しいピッチは無い。中山尾根は下部岩壁と上部岩壁があり、その間の雪稜も楽しいが風をまともに受けて寒さが厳しい。



今回は乾いた雪質の八ヶ岳ということで、濡れについては心配をしていなかった。それにしても、運動量としてはどのルートも十分にハードなので、過去の経験では、汗により靴の中が濡れてしまっていた。

赤岳主稜と中山尾根は、クライミング中に仲間を確保している時間があるので、激しい運動の後に体を動かさない時間は非常に寒さを感じるし、激しい運動でかいた汗が行動停止中に冷たさをもたらす、条件が悪いと凍傷の危険が高くなる。

比較的條件は良かったが、それでも気温は低く時折激しい風が吹きつける中でのクライミングであったが、足の肌に触れる部分に濡れは無く、安心して楽しむことが出来た。

年末年始の剣岳に続いて今回ファイントラックのソックスを使ってみたが、他のソックスを使うのが不安になってしまった。

